

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ガバナー月信
3
VOL.9
2012.03.01



日本号

世界一周の快挙を果たした、毎日新聞社の「日本号」

世の中には常にライバル関係が存在します。その好例のひとつが、朝日・毎日両新聞社の関係ではないでしょうか。両社は戦前からライバルで、発行部数その他を常に競い合っていました。その象徴的な出来事のひとつが、本誌9月号に掲載した朝日の「神風号」と、今号の「日本号」です。昭和12(1937)年、神風号は外国の飛行機が失敗した東京～ロンドン間の難コースを、日本開発のエンジンと機体、日本人パイロットにより見事走破しました。日本国内は熱狂の渦に包まれ、これが新聞の販売部数に大きく反映し、朝日は他の新聞社を大きく引き離すこととなります。ライバルである毎日新聞社も黙って見ている訳にはいきません。「神風号」は陸軍の試作機をベースにしていますが、毎日は海軍に働きかけて双発の新鋭機「96 式中型攻撃機」を払い下げてもらい、「日本号」と名づけ世界一周親善旅行を試みたのです。8名の搭乗員により昭和14年8月26日に日本を飛び立ち、飛行時間194時間で52,260kmを走破、10月20日に帰国しました。しかし神風号への熱狂に比べ、日本号の快挙は余り知られていません。それは日本号が飛び立った直後、9月1日にドイツ軍がポーランドへ侵攻を開始。3日にはイギリス・フランスがドイツへ宣戦布告し、第二次世界大戦が勃発したからです。しかし、この時代において、国産機による5万kmもの大飛行が行われた偉業は特筆されるべきです。この偉業の陰に、2つの大新聞社のライバル関係や、海軍と陸軍という関係が影響していたことも、たいへんに興味深い出来事ではないでしょうか。

CONTENTS

ガバナーメッセージ「3.11から一年を迎えて」	————— P2	ガバナー公式訪問報告(各クラブからの投稿)	————— P19
地区幹事だより	————— P3-8	各クラブ震災復興支援活動	————— P20-25
国際協議会に参加して	————— P9-10	地区主要行事一覧および周年行事予定クラブ、クラブ情報	————— P26
地区補助金審査会報告	————— P11-12	ガバナー月信についてのお願い	————— P27
第4回震災対策特別委員会報告	————— P13	新会員紹介／訃報	————— P28-30
地区チーム研修セミナー	————— P14-17	ロータリー文庫通信	————— P31
第5回全国RYLA研究会参加報告	————— P18	出席報告	————— P32



国際ロータリー 第2840地区
安藤ガバナー事務所
tel:027-370-2840
fax:027-370-2841
e-mail:ando@rid2840.jp

3.11から一年を迎えて



国際ロータリー第2840地区
2011-2012年度
ガバナー 安藤 震太郎



東日本を襲った巨大地震から一年が経過しようとしております。何もかもが「想定外」の地震でありました。連日流れる映像は現実起っている事として信じ難く、国全体が言いようのない恐怖、不安、悲しみ、無力感に包まれたようでした。

大震災から一年、記憶はまだ新しく強烈です。しかし、比較的被害の少なかった当地区では再び震災前と変わらない日常(電気、物資が手に入る暮らし)に戻っている事もあり、震災が「過去の」記憶となってしまっていないでしょうか。もちろん被災地でも同じように一年という時間は経過します。ただ、被災された方にとって震災は決して過去の記憶ではなく、現在も、そしてこれから先の長い年月向き合っただけならぬ現実です。

復興には長い年月がかかる事は皆分かっております。それには一時的ではない支援活動が不可欠である事もです。そしてこの「継続」こそ我々ロータリアンが得意とする分野であります。長年の「継続」により、ポリオ撲滅はあと一歩のところまで来たのです。

地震発生から今日まで、各クラブでは友好クラブを通じて災害地と連携を取り奉仕の実をあ

げるところも多く、ロータリーの友情と絆の強さを感じました。そして福田一良直前ガバナーの呼び掛けにより始まった、災害地区への義援金も皆様のご協力により2500万円を超える額が集まりました。義援金の使途についても議論がまとまらず難航しましたが、被災地の3地区に送金を完了し感謝状が送られてきました事はすでに月信等で報告致しました。

そして、今年度の震災復興支援です。震災から一年、必要とされる支援のあり方も発生当初とは異なり、被災の状況によりニーズも大きく変わってきております。そこで地区の震災対策特別委員会では現地と連携し、支援がなかなか行き届かない場所に対して手を差し伸べようと5つの事業を選び、その支援のために改めて義援金のご協力を震災から一年の3月11日をめぐりにお願いしております。クラブによっては独自に支援活動を実施しているところもあると考え、地区の事業に対する義援金は皆様のご判断にお任せしておりますが、これらの事業に改めて皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

地区で支援する5つの事業

- 1、宮城県山元町の「富士幼稚園」復興事業
- 2、塩竈市の浦戸寒国沢島への農機具の寄付事業
- 3、浦戸フェリーボート取得援助事業
- 4、被災地の高等学校にグランドピアノを寄贈する支援事業
- 5、被災地にてジャズ演奏会を開催するための旅費宿泊費等の援助

地区幹事だよりⅠ

第3330地区(タイ)より「100万本の水支援プロジェクト」寄付感謝状

地区幹事 島津 文弘

昨年11月のタイ洪水被害により現地では飲み水が不足し、疫病の流行が深刻化しつつありました。そこで、国際ロータリー第3330地区(タイ)では、「100万本の水支援プロジェクト」と題し、各国へ支援を依頼しておりました。これを受け当地区では、震災対策特別委員会で審議・決議し、地区災害特別基金より飲料水の購入金として50万円を寄附させていただきました。



地区幹事だよりⅡ

第2520地区 角田ロータリークラブ「長靴支援プロジェクト」寄付実施

第2520地区 角田ロータリークラブ(宮城県)では、仮設住宅や工事現場で仕事をされている方々へ、軽くて蒸れない長靴を提供する「長靴支援プロジェクト」への協力を求めておりました。当地区では震災対策特別委員会の審議により、災害特別基金より30万円の義援金をお送り致しました。下記は角田ロータリークラブ 金子隆史会長からのお礼文です。

国際ロータリー第2840地区
ガバナー 安藤震太郎様

大変お世話になっております。
さてこの度は当クラブの長靴プロジェクトに多大なる義捐金のご協力を賜りまして誠に有難うございました。クラブを代表し厚く御礼申し上げます。
このプロジェクトは沿岸部の被災された養殖ワカメに従事される方々の真なる願いから立ち上がりました。ロータリーの友情にて行われるプロジェクトが少しでも被災の方々に役立つならば私たちの奉仕の理想につながる事だと確信いたしております。
今後とも頑張ってもらいますので、ご厚誼のほどよろしくお願い申し上げます。
最後に2840地区の皆様にくれぐれもよろしく申し上げます。
有難う御座いました。

国際ロータリー第2520地区
角田ロータリークラブ
会長 金子隆史

地区幹事だよりⅢ 各種お願い・ご案内

①各クラブ震災復興支援活動掲載について

2月23日のロータリー記念日に上毛新聞へ掲載のため、たくさんのクラブ様よりご投稿をいただきました。震災復興支援活動記事・写真ですが、紙面のスペースの都合とRIからの「現地での活動に限った内容・写真」掲載の指示のため、せっかくの皆様のご活動を掲載できずご投稿いただきましたクラブ様には大変申し訳なくお詫び申し上げます。

つきましては、今月号月信より各クラブ様よりご投稿いただきました記事・写真を掲載させていただきます。また、地区ホームページにおきましても記事・写真を掲載させていただきますので、是非ご覧下さい。(トップページ「各クラブ震災復興支援活動」からご覧いただけます。)

②地区震災支援金ご協力のお願い

先日各クラブ様へご依頼致しましたとおり、当年度における地区への震災支援金ご協力をお願い申し上げます。今月号ガバナーメッセージにございですが、地区では5つの事業支援を行うことに決定しております。すでにご案内(2月14日)しております「支援金使途指定届」にご記入の上、3月11日までにガバナー事務所へご返送をお願い申し上げます。

※尚、この5つの震災復興支援事業の1つであります、

「浦戸フェリーボート取得支援事業」に関し、詳しい説明が富岡中央ロータリークラブ様より寄せられておりますので、下記へ掲載致します。是非ご参照下さい。

浦戸貨物輸送の為に19 屯型フェリーボートプロジェクトへの協力依頼

日本三景(松島)の島々が点在する中央部沖合に浦戸諸島があります。桂島・野々島・寒風沢・朴島の4島5部落あり、現在約600人の島民が暮らしております。

昨年3月11日の大津波で松島は思ったほど被害を受けなかったのは、このような諸島が防波堤の役割を果たしたと言われております。大きな被害を受けた、この浦戸諸島の復旧復興のため、諸機材の搬送、ライフラインである生活物資の供給が急務であります。

そのための貨物船が必要ですが、関係官庁は護岸復旧工事などに手いっぱい、恐らく数年先にならないと、このようなインフラに手をつけられないようです。地元からも国会議員へ陳情に行くのですが、「何故そのような船を持っていないのか?」と逆に質問される始末です。従来から市営の巡航船で細々と貨物を運んでいたのですが、このような災害を受け、搬送する貨物の増大は避けられず、復旧復興の資材搬送は客船である巡航船のみでは対応はできません。

このままの状況を放置しておくと、生活に支障を来す島民は、やがて故郷を捨てなければならなくなります。そして美しい島も面倒を見る人がいなくなり朽ちてゆきます。そこで昨年、5つの部落の区長さん連名で塩釜ロータリークラブ支援の申し入れがありました。

国際ロータリー第2520地区は、復興支援特別委員会を設立し、島民の定住化を図るため、昨年11月中旬にはロータリー財団管理委員会が設置したロータリー東日本震災復興基金へ補助金を受けるべく活動を



始めました。申請書類の内部資料を整備するため相当の日数を要し、12月中の申請を目指し懸命の努力をされましたが、物理的・時間的に叶わず、ようやく本年1月6日に申請書が整い、第2520地区菅原一博ガバナーの署名を携え、日本委員会に送達できる運びとなりました。2月9日の審査日を迎え、その結果を担当部署へ期待を胸に電話をしました。「申請却下」とのことでした……。何とか実情を訴え、再審査をお願いしました。それでも説明不足があつてはならずと、日本事務局を訪問し懇願いたしました。申請内容を御理解いただき審査をパスし、最高限度額である700万円を許可してもらい、即日受付番号No.205として受理していただきました。

新型造船ですと約2億円かかる船を、消費税込みで1,750万円の見積期限1ヶ月の条件による中古船の見積もりを取ってきました。また、実際船を動かすまでには総額2,800万円かかり、基金700万円、2520地区から300万円、そして地元や台湾のロータリークラブ等の支援(558万円)で何とか1,900万円ほど集まりました。

しかし残りの900万円が不足しており、このままですとせつかく見積をした船も時節がら、中古船は需要が活発で値が上がるか他へ転売されてしまいます。そこで地元ロータリアンは苦渋の決断をするわけです。

船会社を経営している会員が銀行へ借金を申し入れ、このプロジェクトを担当する事務局のRI2520地区第6分区のガバナー補佐が保証人となり、資金を捻出し船の頭金を支払いました。そして残金の900万円は急がず年内までに御縁のあるクラブを通じて広く資金を集めることとしました。それは資金集めに急ぐことで、説明不足による誤解を招いたりしないようにするためです。船は3月中旬には浦戸にやってきます。そして4月1日に贈呈式、竣工式を予定しております。

ロータリー財団はその資金で入手した固定資産は、ロータリー及びロータリー関係者が保有してはならないことになっております。従って、浦戸貨物船推進協議会を設置しロータリアンと地元の人たちで贈呈式までの準備を行います。そしてその船舶の運営はNPOを新たに設置し、ロータリアン以外の一般の方々に行ってもらいます。従ってロータリーはフェリー(船舶)を寄贈するまでを活動の範囲とします。

曳き舟で資材を島に運ぶためには、1週間で約50万円かかります。従って本土と島では7~10%の経済格差が生じております。しかし、このような方法で船を所有し、経費の削減を行い、運賃を安く抑えることが出来ます。このフェリーは貨物船として登録されますが、付帯人員として12名の乗船が可能です。この船では介護車両としての入浴車、ゴミ収集車、更には島内の軽自動車の車検の為の往復積載修理車両の運搬、生活物資のプロパンガス、し尿運搬も容易に行うことが出来ます。島内で生きてゆくための全てが、この船に託すことになるのです。運航は毎日、午前と午後の2便で4島と本土を結ぶこととなります。

現在は海事事務所と折衝し、フェリーの接岸許可を取るのに腐心しております。まだこのフェリーの名前も付けておりません。これは島内の小中学生から名前を募集して、採用された子には御礼を差し上げる予定です。更に船が竣工したら彼らに作文を書いてもらい、島を愛する人たちの心を育てる計画を検討中です。

船を運航させるまで、まだまだいろいろな問題を解決しなければなりません。地元の人たちへのコンセンサスを作るのにも時間が必要です。竣工式には、船にロータリーの垂れ幕などを掲載し、ロータリーの公共イメージを図る予定です。

このように被災から1年を迎える地元のロータリアンは、復旧・復興に粉骨粉砕しております。私達はボランティア活動で知りえた多賀城ロータリークラブとその地区からの要請を受け、多くのロータリアンがこのプロジェクトに関心を寄せ、ご協力をお願いしたいと願っております。

2012/2/25

富岡中央ロータリークラブ
大島雅彰



③各種表彰に関する応募について

2月中に各クラブ様へご案内致しましたが、

1. 意義ある業績賞(2月末日締切)
2. RI会長賞(4月5日締切)
3. チェンジメーカー賞(3月15日締切)
4. 会員増強推進計画の表彰(4月13日締切)

以上の各種表彰につきまして、ぜひ積極的にご応募下さい。「意義ある業績賞」につきましてはすでに締切らせていただきましたが、「RI会長賞」は条件を満たす全てのクラブへ贈られ、「チェンジメーカー賞」はカルヤン・バネルジーRI会長の掲げる“変化”への期待が込められた賞でもあります。これらの表彰のチェック項目はクラブの活性化に必ず繋がる項目ばかりですので、期間の中で1つでも多くの項目を満たせるようぜひ積極参加をお願い致します。

④RLIセミナーについて

皆様のご協力のもと当年度も残すところ4か月となりましたが、安藤年度ではこれまで行えなかったRLI(ロータリー・リーダーシップ研究)セミナーを当年度方針に基づき開催致します。このセミナーは、クラブや一人一人のロータリアンにロータリーを理解してもらい、ロータリーの組織や活動を知り、将来ロータリー活動の指導力を発揮していただくことを目的に、クラブ会長エレクト、次年度クラブ研修リーダーを対象にパートIからパートIIIの3部構成で3回にわたり開催されます。日程・会場・時間は下記のとおりです。

RLIセミナー

【日程・会場】

パートI 3月17日(土) 高崎商工会議所 6階ホール TEL027-361-5171

パートII 5月27日(日) ビエント高崎1階エクセルホール TEL027-361-8243

パートIII 6月24日(日) ビエント高崎1階エクセルホール TEL027-361-8243

【時間】

各日程登録開始 9:00 セミナー 9:30~17:00

⑤「ロータリーの友」3月号について

「ロータリーの友」3月号 視点ガバナーのページ(P38)に安藤震太郎ガバナー投稿の記事が掲載されております。ぜひご覧下さい。

⑥安中ロータリークラブ共催

ミュージカル劇団アラムニー「レ・ミゼラブル」公演のご案内

安中ロータリークラブ共催の、ミュージカル劇団アラムニーによる「レ・ミゼラブル」が公演されます。入場は無料、チケット不要です。皆様ぜひご来場下さい。

次ページより、レ・ミゼラブルパンフレットを掲載します。

入場無料
チケット不要



レ・ミゼラブル

2012年 第12回公演 [・開場予定 13:00 ・開演 13:30]

藤岡公演

藤岡市みかほみらい館 大ホール

共催 (財)藤岡市文化振興事業団

2月25日 日 ミュザン組

2月26日 月 コラント組

安中公演

安中市文化センターホール

共催 安中ロータリークラブ

3月10日 日 コラント組

3月11日 月 ミュザン組

伊勢崎公演

伊勢崎市文化会館 大ホール

3月17日 日 コラント組

3月18日 月 ミュザン組

共催：安中ロータリークラブ 財団法人藤岡市文化振興事業団 アラムニー賛助会
後援：安中市教育委員会 伊勢崎市教育委員会 安中市商工会
上毛新聞社 群馬テレビ FM群馬

協賛：  [バー&グリル チェント] 有限会社 関口紙器
Produced by Euro Brezza

※開演時間は開演の30分前を予定しておりますが、都合により早まる場合がございます。 ※開演時間を過ぎてもご入場は、スタッフの指示に従ってください。
※ミュージザン組・コラント組でキャストが異なります。 ※車椅子等の入場はご遠慮ください。

Alumnae

多くの人に ミュージカルの素晴らしさを伝えたい
ミュージカル劇団 Alumnae (アラムニー)



Les Miserables Story

現代のバリ法科大学。

講義に招かれた悪党たちは、

1832年にパリを震撼させた大事件へつながる

「みじめな人々」について語り始める。

1832年のパリ。

人々は時代に翻弄されながらも、たくましく生きている。

学生を中心とする秘密結社ABCの会は、

過激な活動を展開し、革命の機運が高まる。

ついにパリ中の鐘が鳴り響き、

バリケード戦の火ぶたは切って落とされる…。

Alumnae
アラムニー

2000年に旗揚げされたミュージカル専門のアマチュア劇団で、群馬県を中心に活動し、毎年無料で公演を行っております。前橋女子高校と太田女子高校音楽部の卒業生を中心に構成され、それぞれの学業や仕事に励みながら「高校を卒業して一歩大人になったからこそできる、新たなミュージカルの可能性」を求めて、大好きなミュージカル製作に取り組んでいます。

藤岡市みかほみらい館



群馬藤岡駅よりバスで約10分
TEL 0274(22)5511

安中市文化センター



安中駅より車で約9分
TEL 027(381)0586

伊勢崎市文化会館



伊勢崎駅より車で約10分
TEL 0270(23)6070

国際協議会に参加して

国際ロータリー第2840地区
2011-2012年度
ガバナーエレクト 足田 博之

平成24年1月14日から23日まで9日間、ロサンゼルス経由でサンディエゴに渡り正味6日間ハイアットホテルにおける国際協議会に出席してきました。

全世界532人のガバナーエレクト、そして配偶者が集まり、半年後に控えたそれぞれのガバナー年度へ向けての研修が行われました。1年半前にガバナーノミーになり、ロータリークラブという組織について改めて色々知識を得てきたつもりでしたが、いかに不十分だったかを知らされることになりました。

出発直前の1月7日に壮行会をして頂き、パストガバナーの方々などから色々アドバイスを頂きましたが、緊張もし、不安な状態での出発となりました。

サンディエゴの会場のホテルにバスで到着すると、田中作次RI会長エレクトをはじめとして、近藤RI理事、渡辺元RI理事の方々などに出迎えていただきましたが、ほっとする間もなく同行30人余り(配偶者含め60人余り)が一室に集まり、激励され、翌日からの細かいスケジュールなどの指示がされました。

16日の第1日目の本会議では、カルヤン・バネルジーRI会長による開会宣言・歓迎の挨拶をうけ、新役員の紹介がされ、その後に、田中作次RI会長エレクトによる2012-2013年度テーマ講演が行われ、テーマ「Peace through Service」「奉仕を通じて平和を」と発表、ご自身がロータリアンになってどんな些細なことでも人を助けることがいづれは平和につながるということを知り、テーマとして取り上げたこと、そして、平和について個々に意味するものが違ってきますが、抽象的に言うと「幸福感や心の平穩、静けさである」としていました。シンプルではありますが、全世界のロータリアンが改めて平和について考え、それがロータリアンが奉仕を通じて平和



へ貢献していくことで平和をもたらしてほしいとお考えと感じました。

また、地区内のクラブにおいて「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」というRI戦略計画の3つの優先項目に力を注いで欲しいとしていました。

その後の全体の流れでは、ポリオ撲滅、会員増強についてのことが多く取り上げられました。また、「心に残るロータリー体験」と題して、色々な立場で研修リーダーの方々からお話があり、有意義な時間を過ごしました。

いよいよ半年後のガバナーへ向けて不安な気持ちではありますが、やらなければという気持ちですので、宜しくお願い致します。





地区補助金審査会報告

地区副幹事 室賀 康志

2012年1月21日、午前10時30分から、高崎ビューホテルにて、地区補助金審査会が開催されました。

冒頭、安藤震太郎ガバナー、牛久保哲男ロータリー財団委員長から、ご挨拶をいただき、森田高史補助金委員長の挨拶と審査についての説明があり、森田委員長の進行で、8件の申請について審議をしました。

本年度の申請内容は、前橋西RCの街路飾花計画、前橋中央RCの児童養護施設「地行園」へのテレビ設置プロジェクト、桐生中央RCの桐育乳児園医学管理備品並びに精神発育推進備品寄贈プロジェクト、伊勢崎RCの社会福祉法人「伊勢崎市愛のはぐるま会」天啓園への車椅子寄贈事業、伊勢崎東RCの市内小中学校への寄贈図書、沼田中央RCの児童養護施設鐘の鳴る丘少年の家職業訓練、富岡RCのカンボジアシエムリアブサ小学校への図書及び本棚寄贈、藤岡RCの屋外温度計設置事業の8件でした。

いずれのプロジェクトも受益地域社会の意向に添い、人道性に溢れるもので、優劣をつけがたいものでしたが、限られた予算や補助金規定による制約などもあり、活発な議論の結果、全プロジェクトに補助金支給をすることとし、5件については申請額を減額した支給をする、ということで決議されました。

なお、申請されました各クラブには、既に審査結果が通知されておりますが、資料の追加提出や申請書の修正等につきましては、お早めにご対応願います。

2時間近い議論の末、上記のような結論となり、最後に高木貞一郎ロータリー財団委員会アドバイザーから総括をいただき、審査会は無事終了しました。

委員会開催場所と時間

高崎ビューホテル 午前10時30分から午後1時

出席者

安藤震太郎ガバナー・高木貞一郎ロータリー財団委員会アドバイザー・牛久保哲男ロータリー財団委員長・島津文弘地区幹事・松島宏明地区幹事・森田高史補助金奨学金年次寄付恒久基金委員長・宮内敦夫同委員・矢島克彦同委員・川口修平同委員・中繁基同委員・北野浩司郎同委員・川村隆同委員・下井田秀一同委員・永井勇同委員・室賀康志地区副幹事

事案と審査結果を次ページに掲載致します。



2011-2012年度 地区補助金申請クラブ一覧

2012年1月現在 1ドル=78円

申請クラブ	プロジェクト名	補助金申請額 円	連絡担当者	補助金額(¥)
前橋西	街路飾花計画	¥288,310	数納 篤紀	¥288,310
前橋中央	児童養護施設「地行園」へのテレビ 設置プロジェクト	¥382,200	井上芙美子	¥305,760
桐生中央	桐育乳児園、医学管理備品並びに 精神発育推進備品寄贈プロジェクト	¥101,850	森下 正教	¥101,850
伊勢崎	社会福祉法人「伊勢崎市愛のはぐるま会」 天啓園への車椅子寄贈事業	¥350,000	多部田敬三	¥300,000
伊勢崎東	寄贈図書	¥150,000	栗原 成次	¥150,000
沼田中央	職人技体験教室	¥240,000	堤 康喜智	¥240,000
富岡	カンボジアシテムリアプサ小学校への 図書及び本棚寄贈	¥200,000	小林 京子	¥200,000
藤岡	屋外温度計設置事業	¥525,000	貫井 昌	¥300,000
合 計		¥2,237,360		¥1,885,920

2011-2012年度 地区補助金入金額

¥1,968,000

(2011年7月レート 1ドル=82円)



第4回 震災対策特別委員会報告

地区副幹事 室賀 康志

2012年1月27日、安藤ガバナー事務所にて第4回震災対策特別委員会が開催されました。

安藤震太郎ガバナー、曾我隆一震災対策特別委員長からの挨拶の後、被災地区である第2520地区(仙台)から山田町の小中学生の震災をテーマにした作文集が当地区に送付されること、第2750地区(東京)が復興支援情報サイトを立ち上げたことなどが報告されました。

続いて、当地区としての東日本大震災復興支援活動について活発な議論が行なわれ、現在支援を求められているいくつかのプロジェクトの内容や、地区内各クラブが実行されている復興支援活動内容が紹介されました。

その結果、仮設住宅の入居者の方々などに長靴を贈るという活動を行っている角田ロータリークラブに、地区震災特別基金から30万円の支援金を送ることが採択されました。

また、塩竈市の寒風沢島へ稲作再開のための農機具購入資金を贈呈するというプロジェクトと、第2520地区亘理ロータリークラブの富士幼稚園復旧プロジェクトの二つの事業が、地区として支援に最適であろうとの結論に達しました。

委員会としては、これら2つのプロジェクトを各クラブに紹介・提案し、クラブごとに支援に協力するプロジェクトを選択していただき(複数選択も可とする。クラブによっては独自の支援活動をしているため、今回の地区推奨のプロジェクトには参加しないとの回答も可とする。)、併せて支援できる金額を回答してもらい、これらを地区において集計・集約のうえ、地区としての支援金を併せて、各プロジェクトに参加する(支援金を送金する)、との決議になりました。

さらに、これらと並行して、各クラブがこれから年度内に実施する予定の支援活動について、地区からの援助が必要なものについては、各クラブからの要望を募り出来る限り地区としても協力していくということが確認されました。

本委員会は、前年度に集金した支援金の送金までに上半期は費やされてしまいましたが、ようやく安藤年度独自の復興支援活動について、皆様に具体的な提案をできるようになりました。

各クラブからのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



国際ロータリー第 2840 地区 2012-2013 年度 (足田年度)

地区チーム研修セミナー報告

①次第

2012年2月19日(日)

桐生プリオパレス

司会進行 地区副幹事 本田雄一郎

9:30~10:00	受付		
10:00~10:05	開会	地区研修委員	水石清治
	挨拶	地区研修リーダー	曾我隆一
10:05~11:00	RI年次テーマ	ガバナーエレクト	足田博之
	国際協議会報告		
	地区運営方針・地区行動指針発表		
11:00~11:20	地区組織・年度スケジュール	地区幹事	松島宏明
	次年度予算について	地区財務員	山上達也
	(休憩10分)		
11:30~12:00	RI戦略計画について	地区研修リーダー	曾我隆一
12:00~12:30	RLIについて	地区研修副委員長	横山公一
12:30~13:30	(昼食・休憩)		
13:30~14:30	ロータリー財団について	R財団委員長	牛久保哲男
14:30~15:30	チームミーティング	進行:研修委員	大島雅彰
	ガバナー補佐、委員長、担当副幹事		
15:30~15:40	アンケート記入		
15:40~16:00	依頼事項	地区幹事	松島宏明
16:00~16:05	閉会	地区研修委員	佐藤 修

②2012-2013 年度 牛久保哲男ロータリー財団委員長資料 「ロータリー財団について」

「未来の夢計画」について

2012年2月19日

2011~12年度
ロータリー財団委員長
牛久保 哲男

国際ロータリーとR財団との関係

RI会長
パネルジー会長

ロータリー財団
管理委員会

理事会 18名
近藤 雅臣 氏

財団管理委員長
ポイド委員長

ガバナー 531

管理委員 14名
小沢 一彦 氏

ガバナー補佐

クラブ会長

PRFC
財団コーディネーター

R財団の活動

寄付を集める活動

- ①年次寄付
毎年続ける1人100ドル
- ②恒久基金
元金は使わず収益を使う
- ③使途指定寄付
使い道を決めて使う
ポリオ・プラス 1人24ドル

クラブ財団委員会

寄付金を使う活動

教育プログラム
企業家プログラム
ロータリアンが人々の健康
状態を改善し、教育への支援
を高め、貧困を解消すること
を通じて世界理解、親善、
平和を達成できるようにする

財団の使命

奉仕プロジェクト委員会
社会奉仕委員
国際奉仕委員

地区ロータリー財団資金の推移

2840 地区 寄付実績 単位:円

年度	年次寄付	恒久基金	使途指定寄付	計
2000-01	236,814.90	33,005.67	10,959.00	280,779.57
2001-02	235,262.42	13,226.39	21,686.00	270,174.81
2002-03	210,865.67	90,468.88	7,385.48	317,720.03
2003-04	179,989.36	94,697.05	4,229.00	278,915.41
2004-05	174,313.66	122,220.47	33,841.00	330,375.13
2005-06	202,362.16	7,129.11	2,056.00	211,537.27
2006-07	225,797.08	932.20	8,133.98	234,863.26
2007-08	237,707.66	3,321.63	2,695.00	243,724.29
2008-09	241,236.01	36,441.07	17,945.00	295,622.08
2009-10	235,202.52	17,077.46	4,140.00	256,419.98
2010-11	234,501.10	32,025.74	5,522.00	272,048.84
合計	2414041.94	459,545.67	118,592.46	2,992,180.07

地区財団活動資金 (DDF)

2840地区
47クラブ
1907名

年次寄付
1人100ドル

恒久基金
2025年10億ドル

使途指定寄付
ポリオプラス
1人24ドル

ロータリー財団管理委員会

3年前の年次寄付と
3年前の恒久基金の運用益

国際財団活動資金
WF (50%)

シエアーステム

地区財団活動資金
DDF (50%)

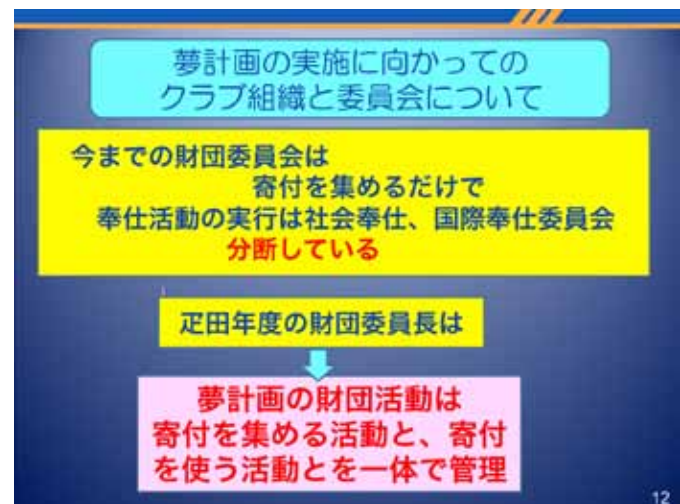
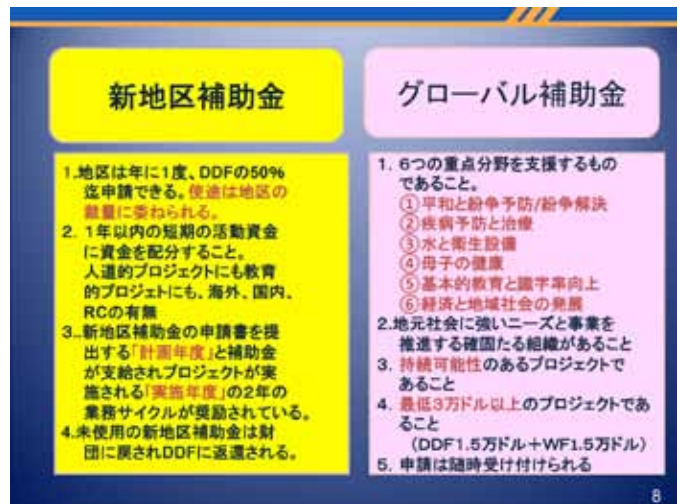
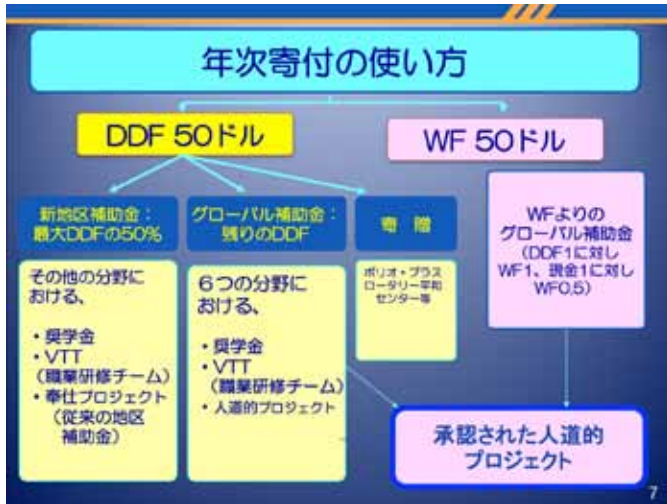
未来の夢計画

- 時 期：2013~2014年度より実施
- 標 語：世界でよいことをしよう (Doing good in the world)
- パイロット地区：2010~2011年度より実施
国内6地区 (3年間)

理由：1995年開始のマッチング・グラントが2000年までに1万件
2000~2004年の4年間で1万件 授与
2004~2008年の4年間で1万件 授与

◎大きな成果と長期的な持続が望めるプロジェクトを目指し
財団プロジェクトの職業化のための方策

目的：①プログラムと運営の効率化
②最大の成果が期待できる奉仕活動にシフト
③世界的目標と地元の目標の両方を実現するための資金提供
④憲法決議権を地区とクラブに移行することによって、地区レベルと
クラブレベルで、ロータリー財団が自分達のものであるという自覚を
高めること
⑤公共イメージを高める



クラブ組織の検討



13

2012-13年度 国際ロータリー財団目標

最優先目標：ポリオ撲滅

第2位：「奉仕を通じて平和を」のテーマの実現させる事。

第3位：年次寄付金を支援、強化

「毎年あなたも100ドルを」

昨年度達成は韓国、日本、カナダ、米国の4カ国

第4位：未来の夢の成功のために、地区の資金管理
(地区による財団資金管理)

地区財団活動運営方針

1. 未来の夢計画の完全実施のための委員会活動の充実、及びクラブでの新地区補助金の活用への支援
2. 年次寄付：1人100ドルの100%達成
3. 大口寄付者：3名
4. VTTプログラムの検討
5. 財団奨学生は今期は実施しない
(新地区補助金のクラブ活用を優先する)

今後のご協力をお願いいたします
終了

14

こちらのデータは、地区ホームページからもご覧いただけます。
疋田年度地区チーム研修セミナー詳細のご報告は次号掲載致します。



第5回 全国RYLA研究会 参加報告

第2840地区 奉仕プロジェクト
ライラ委員会 委員長 春山 和夫
(パネルディスカッション パネラー)

平成24年2月5日「第5回 全国RYLA研究会」が東京都品川区高輪にありますグランドプリンスホテル新高輪で開催されました。

全国各地より132名の新世代奉仕(特にRYLA)に関係するロータリアンが集いました。当地区からは、疋田ガバナーエレクト、本田ノミニーを始め、前橋南RC皆様6名を含めまして11名の皆様が参加しました。大会委員長は、元RI理事今井鎮雄先生、副委員長を海沼美智子RI RAYL委員(世界で6名)が務められました。

今井大会委員長の開会点鐘、片倉章雄ガバナー会議長の挨拶、南園義一元RI理事の基調講演①につづき基調講演②を今井鎮雄先生が行いました。RI RYLA委員会報告が海沼美智子委員より行われ、休止されている「国際RYLA」の2年後の開催予定等について報告がありました。昼食後、第2750(東京)地区RYLArian2名の活動報告がなされました。

その後、私の役目でありましたパネルディスカッションがモデレーターと3名のパネリストにより行なわれ、パネリストは自地区の今年度RYLAを20分程度でパワーポイントや配布資料を使い報告しました。その後コーヒブレイクを挟み再登壇して質疑応答を行いました。私は、第3,4,5回と3度目の全国RYLA研究会への参加となりましたが、今回の質疑応答は活発で質、量ともに最高でした。全国的にRYLAが見直されたり、浸透したりと主催者の目論見が成功しているように感じました。又、講演や質疑応答の中で青少年交換・インターアクト・ローターアクト・RYLAの各委員会が連携する新世代奉仕活動が必要であり今後新世代奉仕という名目の中で統合されるのではないかと意見もありました。

総括としての感想は、地区や地域により様々な形のRYLAが展開され、固定・形骸化せず進化している。多くは少数精鋭で次代を担うリーダー育成と将来のロータリアン確保の手段としてRYLAを開催しているようです。この度のライラ委員長での経験を踏まえ、今後の第2840地区RYLAが当地区RACやRYLArianを核として企画・運営され、地区ライラ委員会は、予算確保とロータリー関与の意義を求めつつ参加者確保等の後方支援に重きを置くスタイルに向かい進むべきではないかと提案致します。

研究会終了後、今井先生を囲んで海沼先生と海沼先生のブレーン5名の中に私も呼びかけ、ロータリーとは?RYLAとは?新世代奉仕とは?多岐のテーマでRI・日本のトップリーダーの皆様とお酒を飲みながら3時間にも渡り懇親させて頂き、真のロータリアンを肌で感じてまいりました。

地区ライラ委員長を拝命し、とても多くの皆様との「出会い・感動・絆」が生まれ、私の人生にとって大きな収穫となりました。感謝申し上げます。合掌

ガバナー公式訪問報告 館林西ロータリークラブ

会長 小巻 行雄

幹事 新井 武夫

2011年7月19日(火) 台風の影響で雨が降る中、2011-2012年度 2840地区ガバナー安藤震太郎様、地区幹事島津文弘様、ガバナー補佐斉藤 要様を、緊張の中館林西ロータリークラブにお迎えする事が出来ました。

なにせ公式訪問トップという事なので、どうお迎えしたらよいものかと、会長・幹事他各委員は、あれこれ悩み準備・検討した事を、昨日のように思い出します。お茶を飲み、一通りのご挨拶の後、懇談に進みました。

安藤ガバナーにおかれましても、当クラブが初の公式訪問でありましたので、多少の緊張はあったかと思われませんが、ガバナーの穏やかな表情で懇談が進み、私どものこわばった表情も次第におさまり落ち着いた懇談になりました。

特に東北地方を襲った3.11の支援については、熱心に話され 奉仕活動についての重大さ・重要性を再認識いたしました。地区としての対応、又ガバナー会での対応など、ガバナーのご意見には大変 勉強になりました。

また会員増強については、長期的計画にて会員全体で取り組むように指導頂き、そのほか趣味の会(同好会・愛好会)等を率先して作り魅力あるクラブ作りを目指し、増強・退会防止に役立ててもらいたいなど、貴重なご意見を頂きました。

会長・幹事をはじめ各委員長・委員・会員は、公式訪問について感謝すると共に、ご意見を生かして今後のRC活動を進めて行きたいと思っております。

安藤ガバナー、島津地区幹事、斉藤ガバナー補佐、大変お世話になりました。



各クラブ震災復興支援活動 前橋ロータリークラブ

会長 板垣 忍

前橋ロータリークラブは、「震災復興支援奉仕活動」の取り組みの一つとして、全会員より寄付金を募り次の活動を行いました。

- ① 友好ロータリークラブとしてともに活動する水戸ロータリークラブに対して3月15日に義援金として50万円を送りました。
- ② 震災後、前橋市に避難していた人たちのために、前橋市危機管理室が取り組んでいた東日本大震災の被災者に対する支援に賛同し、4月19日に前橋市危機管理室に50万円を寄付しました。



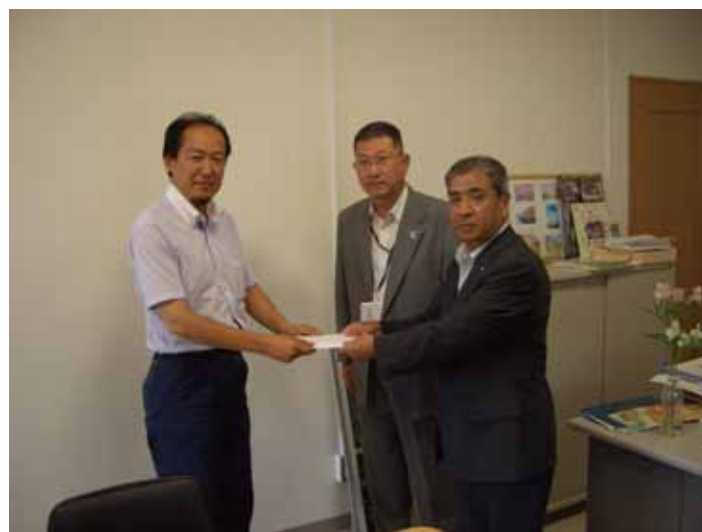
高木前橋市長(右)より感謝状を本田会長が頂きました。

各クラブ震災復興支援活動 前橋西ロータリークラブ

会長 数納 篤紀

前橋西ロータリークラブは、8月に岩手県陸前高田市役所を訪れ、津波で流された市立図書館復興の書籍購入費として、100万円を戸羽太市長に手渡しました。この100万円は、6月8日に同クラブが主催して前橋地区の5ロータリークラブに呼びかけ、280名が参加して、赤城国際カントリークラブで開催した、「東日本震災支援チャリティーゴルフ大会」の浄財です。

その他に、当クラブではニコニコ金を切り崩し、また有志のみでも支援物資を調達し陸前高田市へ届けました。





各クラブ震災復興支援活動 前橋東ロータリークラブ

会長 小林 勇

2011年3月11日東日本大震災勃発後、地区よりの要請の募金活動に於いて集まった義捐金を当クラブでは多年度に亘る支援を考え地区に送った後、100万円を保留し今年度に於いて支援先を協議し理事会で検討した結果、各会員に意見を募集して方向付けを行おうと決めました。会員に支援先、支援目的、支援金額、その他意見を頂きました処、10名の会員から有意義なる意見が出されました、その結果、支援先のハッキリしている処で町長より直に要請があった小さな地域、直に義捐金を届けられる処と理事会の意見がまとまりました。

その結果、宮城県女川町に決めさせて頂き、会長、幹事、エレクト、副社長、会員、女川町の被災住民計7名にて平成23年12月19日に女川町役場の町長に義捐金を届けさせて頂きました、役場に於いて町長と総務課長との意見交換をさせて頂き悲惨な状況、他からの援助等が非常に時間がかかり復興がなかなか思うように進まない等悲惨な状況、悲痛の思いが感じられました、今回のこの状況下に於いての義捐金は非常に感謝されロータリーの各会員の皆様にくれぐれも宜しくと感謝状を頂いて来ました

各クラブ震災復興支援活動 前橋北ロータリークラブ

会長 富岡 政明

12月13日(火) に福島県相馬市で活動しております相馬ロータリークラブ例会に会員21名で参加してまいりました。被災地で頑張っているロータリークラブを支援する目的で30周年記念事業として義援金100万円を贈呈して来ました。

今後も相馬ロータリーに対し継続的に交流を持ち支援を続けて行く方針です。



各クラブ震災復興支援活動 前橋南ロータリークラブ

会長 橘田 博

東日本大震災により、姉妹クラブである「いわき平中央RC」の会員も、犠牲者こそ出なかったものの甚大な被害を被り、例会開催の見通しも立たないとのことでした。そこで、5月13日に橘田会長はじめ数人の有志で、ニコニコBOXから拠出した義援金50万円を持って「いわき平中央RC」を慰問に行きました。

「いわき平中央RC」では、そのお金をより有効に活用すべく検討を重ねた結果、被害が大きかった会員の老人施設に車椅子25台と、国立いわき病院へ車椅子10台を寄贈したとの報告がありました。

自分たちも大きな被害を受けたのに、社会的な貢献を第一に考えた行動に心から敬意を表します。



各クラブ震災復興支援活動 前橋中央ロータリークラブ

会長 北爪 國平



300着 片品の避難者へ

前橋中央RCが贈る

前橋中央ロータリーS・Lサイズの、さま
クラブ(宮下隆志会長) さまざまな色や柄を用意し
は、東日本大震災と福 島第1原発事故の避難
者を受け入れている片 300人、子供50人が
品村を訪れ、夏用の衣 避難している。会員9
類としてTシャツ30 人が、避難者のいる宿
0着を贈った。 泊施設を訪れ、Tシャ
避難者の夏用衣類が ツを手渡した。子供に
不足していることを知 は菓子類を贈った。
った同クラブが、会員 宮下会長は「皆さん
に呼び掛けて県内の量 に喜んでもらえてうれ
い」と話していた。

6月22日上毛新聞掲載記事より抜粋



国際ロータリー第 2840 地区 2011-2012 年度
地区主要行事一覧表

(2012.1.1現在)

		開催日	項目	場所
2012年	1月	1月 7日(土)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ホテルメトロポリタン高崎
		1月 15日(日)	米山奨学生選考会	ホテルメトロポリタン高崎
		1月 21日(土)	R財団・地区補助金審査会	高崎ビューホテル
	2月	2月 4日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会・補欠議員選出	ホワイトイン高崎
		2月 18日(土)	米山奨学生終了式・奨学生歓送迎会	高崎ビューホテル
	3月	3月17日(土)	RLIセミナーパートI	高崎商工会議所
		3月22日(木)~25日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月	4月 14日(土)	新規米山カウンセラーセミナー・オリエンテーション	高崎ビューホテル
		4月 21日(土)	ロータリーアクト年次大会	伊勢崎市立伊勢崎高等学校
		4月 27日(金)~29日(日)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎ビューホテル
	5月	5月 6日(日)~ 9日(水)	国際大会	バンコク
		5月 26日(土)	第4回 ガバナー補佐・委員長合同会議	ホテルメトロポリタン高崎
		5月 27日(日)	RLIセミナーパートII	ビエント高崎
	6月	6月 3日(日)	米山奨学会学友会総会	高崎ビューホテル
		6月 24日(日)	RLIセミナーパートIII	ビエント高崎
		6月 30日(土)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	高崎ビューホテル
		6月 30日(土)	18:00 新旧地区役員合同連絡会議	高崎ビューホテル
	8月	8月	会計監査報告	

国際ロータリー第 2840 地区 2012-2013 年度
地区主要行事一覧表(予定)

(2012.1.1現在)

		開催日	項目	場所
2012年	1月	1月 12日(木)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者会議	桐生・商工会議所
		1月 15日(日)~1月21日(土)	国際協議会	アメリカ・サンディエゴ
	2月	2月 19日(日)	地区チーム研修セミナー	桐生・プリオパレス
	3月	3月 10日(土)	会長エレクト・次期幹事研修セミナー (PETS&SETS)	桐生・プリオパレス
		3月 18日(日)	女性フォーラム	前橋・ロイヤルホテル
	4月	4月 7日(土)	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	桐生・プリオパレス
		4月 22日(日)	地区協議会	桐生・市民文化会館
	5月	5月 6日(日)~5月 9日(水)	国際大会	タイ・バンコク
	6月	6月16日(土)	地区ロータリー財団セミナー	
		6月 日()	ガバナー補佐会議(午前)・地区会員増強セミナー(午後)	
6月 日()		ロータリーアクト地区協議会・地区指導者研修会		
6月30日(土)		18:00新旧地区役員合同連絡会議	高崎ビューホテル	

国際ロータリー第 2840 地区 2011-2012 年度
周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予定日	開催場所	実施・規模
桐生西	40	2011年11月19日(土)	桐生プリオパレス	
大泉	45	2012年 3月 7日(水)	三洋電機群馬保健センター	予定通り実施
太田	55	2012年 3月29日(木)	ロイヤルチェスター太田	予定通り実施
前橋東	35	2012年 4月12日(木)	ロイヤルチェスター前橋	予定通り実施
太田中央	20	2012年 4月14日(土)	マリエール太田	規模を小さく実施
高崎南	50	2012年 4月15日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	予定通り実施
前橋北	30	2012年 5月13日(日)	前橋商工会議所	予定通り実施
桐生赤城	15	2012年 5月19日(土)	桐生プリオパレス	予定通り実施
太田西	40	2012年 5月頃	渡良瀬河川敷	記念品贈呈式典を催す予定

クラブ情報 以下の情報が届いていますので、お知らせいたします。

事務局移転

伊勢崎中央RC 〒372-0031 伊勢崎市今泉町1-9-7 ニューいずみ内 TEL0270-20-6000 FAX0270-20-6001
(TEL、FAX、メールアドレスに変更はございません)



月信担当者より皆様へ

ガバナー月信についてのお願い

主に下記の要領で掲載しますので、ご協力お願いいたします。

1. ガバナーからのメッセージ
2. ガバナー補佐、地区幹事、委員会、地区副幹事からのメッセージ
3. 当月の主要行事の案内
4. クラブだより
5. 新入会員の紹介・訃報
6. 地区出席報告〈クラブ出席率の一覧〉

以上はインターネットホームページ上で配信しております。

■ 出席報告の締切は、毎月 7 日迄です。

出席報告の入力位置がトップページにありますのでご利用ください。

なお、ID とパスワードは各事務所お持ちとおもいますが、不明なクラブはガバナー事務局までお問い合わせください。

■ 原稿の締切は、ワード文書・エクセル書式・テキスト形式で毎月 15 日迄です。

写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。

■ 新入会員の紹介、訃報のご連絡は、毎月 15 日までをお願いいたします。

(15 日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載になります。)

■ 月信の配信は、翌月 1 日に行います。

■ 新入会員・訃報は、略歴・写真を添えて、メールにて安藤ガバナー事務所 ando@rid2840.jp までお送りください。

月信担当 安藤ガバナー事務所 担当副幹事 竹中 隆

この月信の PDF データを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。
よろしくお願ひ申し上げます。

会員だより

新入会員紹介



新会員名 三輪 斉
クラブ 前橋RC
入会日 2012年1月26日
職業分類 建築設計・施工
勤務先 (株)アクティブ
役職 代表取締役
推薦者 平方 宏



新会員名 後藤 圭一
クラブ 桐生RC
入会日 2012年1月30日
職業分類 酒類小売販売業
勤務先 後藤酒店
役職 副代表
推薦者 本田 雄一郎 山上 達也



新会員名 藤生 純
クラブ 前橋南RC
入会日 2012年1月11日
職業分類 請負業
勤務先 (株)一条工務店
役職 代表取締役
推薦者 橘田 博



新会員名 高橋 弘史
クラブ 桐生RC
入会日 2012年1月30日
職業分類 ビルメンテナンス業
勤務先 株式会社ビル・メン
役職 代表取締役
推薦者 本田 雄一郎 大友 一之



新会員名 朝倉 剛太郎
クラブ 桐生RC
入会日 2012年1月30日
職業分類 染色整理加工業
勤務先 朝倉染布株式会社
役職 代表取締役社長
推薦者 疋田 博之 川島 康雄



新会員名 長島 誠
クラブ 伊勢崎RC
入会日 2011年11月2日
職業分類 文房具販売
勤務先 株式会社ナガシマ
役職 代表取締役
推薦者 森田 高史 多部田 敬三



新会員名 飯塚 荘一
クラブ 桐生RC
入会日 2012年1月30日
職業分類 日本料理
勤務先 株式会社たつきち
役職 代表取締役
推薦者 野間 義弘 桑原 志郎



新会員名 竹内 健治
クラブ 伊勢崎RC
入会日 2012年1月11日
職業分類 清掃業
勤務先 株式会社リッケン
役職 代表取締役
推薦者 平田 進 大和 勲

会員だより

新入会員紹介



新会員名 金井 敦史
クラブ 伊勢崎中央RC
入会日 2012年2月2日
職業分類 飲食業
勤務先 (有)オフィスアルカディア
役職 代表取締役
推薦者 泉 哲雄 上柿 敬一



新会員名 本多 真
クラブ 安中RC
入会日 2012年1月10日
職業分類 一般内科医
勤務先 医)信愛会 本多病院
役職 理事長・院長
推薦者 藤巻 康喜



新会員名 石澤 雄一郎
クラブ 沼田RC
入会日 2012年1月10日
職業分類 日用品雑貨卸業
勤務先 (株)マルキホームズ
役職 代表取締役社長
推薦者 桑原 敏彦



新会員名 沼崎 孝則
クラブ 安中RC
入会日 2012年1月10日
職業分類 非鉄金属
勤務先 東邦亜鉛安中製錬所
役職 所長
推薦者 須藤 英仁

会員だより
訃報



宮久保 寛 会員
前橋ロータリークラブ
宮久保眼科
院長
2012年1月14日逝去
享年64歳
2007年2月20日入会
米山功労者表彰(1回)
R財団ポールハリス準フェロー

謹んでお悔やみ申し上げます。



国際ロータリー第 2840 地区 2011-2012 年度

ロータリー文庫通信 (294号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー創立記念日にあたって

- 「70周年に当り創世期のロータリーを憶う」
平島健次郎 1975 / 7P (ロータリー入門)
- 「これがロータリーだ」
直木太一郎 1983 / 41 (私のロータリー.50年)
- 「平凡で偉大なロータリー精神」
末永直行 1972 / 20P
- 「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」
鳴海淳郎 2000 / 9P
- 「シェルドン…忘れ得ぬその名」
ジョン O. ナットソン：神崎正陳訳 1998 / 12P
- 「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」
鳴海 淳郎 2000 / 9P
- 「ロータリー進化論」
前原勝樹 1985 / 19P
- 「ロータリーの組織と奉仕」
深川純一 2001 / 68P
- 「ロータリー廣報乃王道」
佐藤千壽 1997 / 34P
- 「米山梅吉と日本のロータリー (抄)」
長井盛至 1983 / 31P
- 「四つのクラブの七つの驚き」
安積得也 1977 / 44P (おゝロータリアン)

[上記申込先:ロータリー文庫]

- 「我が自叙伝」
ハーバート J. テーラー著 菅野多利雄訳 1990 / 219P

[申込先:緑ヶ丘病院 FAX(022)365-3000]

ロータリー文庫

- 〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
- TEL.03-3433-6456 ●FAX.03-3459-7506 ●<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
- 開館=午前10時~午後5時 ●休館=土・日・祝祭日



第 2840 地区

1月 出席報告

クラブ数	会員数				
	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
47	1928	1944	16	73	83.44

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
			月初	月末	増減	女性	
第1分区分区	前橋	4	80.59	112	112	0	3
	前橋西	4	84.42	58	58	0	5
	前橋東	3	91.26	66	66	0	4
	前橋北	3	87.65	65	65	0	5
	前橋南	3	96.88	31	32	1	1
	前橋中央	3	78.16	30	30	0	6
	合計		86.49	362	363	1	24
第2分区分区A	桐生	2	88.56	66	69	3	0
	桐生南	4	73.91	23	23	0	0
	桐生西	4	91.50	48	49	1	0
	桐生中央	3	77.78	24	24	0	3
	桐生赤城	4	84.01	41	41	0	5
	合計		83.15	202	206	4	8
第2分区分区B	伊勢崎	3	91.85	73	74	1	0
	群馬境	3	82.54	32	32	0	1
	伊勢崎中央	3	85.37	65	66	1	0
	伊勢崎南	3	76.19	27	27	0	1
	伊勢崎東	3	95.62	30	30	0	1
	合計		86.31	227	229	2	3
第3分区分区	高崎	3	89.85	69	69	0	0
	高崎南	4	80.95	63	63	0	4
	高崎北	3	77.30	66	67	1	0
	高崎東	3	82.14	37	37	0	1
	高崎ソフオー	3	83.78	37	37	0	3
	高崎セントラル	4	78.99	33	35	2	0
合計		82.17	305	308	3	8	

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
			月初	月末	増減	女性	
第4分区分区A	太田	3	91.39	61	62	1	2
	太田西	3	84.06	20	20	0	2
	太田南	4	83.82	41	42	1	0
	新田	3	82.72	27	27	0	0
	太田中央	4	80.36	42	42	0	1
	合計		84.47	191	193	2	5
第4分区分区B	館林	4	82.02	47	47	0	0
	大泉	3	84.22	27	27	0	3
	館林西	4	87.49	19	19	0	0
	館林東	3	93.05	26	26	0	2
	館林ミニアム	3	88.07	25	25	0	0
	合計		86.97	144	144	0	5
第5分区分区	渋川	3	94.00	58	58	0	3
	沼田	4	76.61	57	58	1	0
	草津	3	68.55	21	21	0	1
	みなかみ	3	97.00	5	5	0	0
	中之条	4	90.00	23	23	0	1
	沼田中央	4	71.21	56	56	0	0
	渋川みどり	4	74.85	44	44	0	3
	合計		81.75	264	265	1	8
第6分区分区	富岡	3	82.06	46	46	0	4
	藤岡	3	83.34	44	44	0	2
	安中	3	74.71	27	29	2	0
	藤岡北	4	79.80	17	17	0	2
	富岡中央	4	87.63	41	41	0	1
	碓氷安中	4	71.43	14	14	0	2
	藤岡南	3	76.60	15	16	1	1
	富岡かぶら	4	77.40	29	29	0	0
合計		79.12	233	236	3	12	